

関係部課へお
まわし下さい

【研究会の参加申し込み方法について】
JPI ホームページより参加申し込みができます。ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

平成29年12月



JPI催しのご案内

2017
12

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 平成29年12月14日(木) [第1部]10:00~12:00 [第2部]13:15~15:00 [第3部]15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第61回包装情報ステーション

10:00~12:00

【テーマ】食品用器具容器包装のポジティブリスト制度の導入に向けて

厚生労働省では、2016年8月より「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」を開催し、国際整合性の確保を含む、食品用器具容器包装の具体的な安全性確保手法について検討を行い、本年6月に同検討会の取りまとめを公表しました。取りまとめでは、更なる食品用器具容器包装の安全性確保について、既に諸外国で導入が進んでいるポジティブリスト制度について言及がなされ、現在、食品衛生法の改正を念頭に技術検討会の開催等の作業を行っているところです。本講演では検討会開催の背景や取りまとめの内容、現在の検討状況等についてお話しします。

【講師】厚生労働省 医薬・生活衛生局食品基準審査課 課長補佐 近藤卓也氏

第2部 第99回包装情報研究会

13:15~15:00

【テーマ】変貌する米国の小売業とパッケージの対応

講師は、1987年、JPIの「21世紀包装研究会による包装未来予測プロジェクト」の一員として、「2010年には、ニューメディアの普及により、家庭内において自由に注文・購入できるホームショッピングの場が多くなる」と予測。また、2003年には、「インターネットマーケティングにおけるパッケージングとその役割」をテーマに講演。一貫して、小売業ウォッチャーを自認する。2017年は、実店舗型 Walmart Stores とネット販売型 Amazon.com 両巨人による新たな小売競争勃発の年であるともいわれる。本年8月には、Amazon.comの本拠地である米国シアトル市に滞在、また、9月には、Walmartのプライベートブランド・パッケージングの元責任者を務めた Ron Sasine 氏を招聘して公開講演会を企画・監修した(東京、大阪)。それらの見聞ならびに対話をもとに、「変貌する米国の小売業とパッケージの対応」について語る。

【講師】有田技術士事務所 所長 有田俊雄氏
 【コーディネーター】花王(株) 包装容器開発研究所 室長 稲川義則氏
 凸版印刷(株) 生活産業事業本部 事業戦略本部 事業企画部 環境ビジネスチーム 部長 川田靖氏

第3部 第219回包装資材研究会

15:15~17:00

【テーマ】セルロースナノファイバーの実用化に向けた現状と課題

循環型社会システムの構築を目指したバイオリファイナリーに関わる技術開発として、非可食の木質バイオマスを利用して化石資源を代替する燃料および素材の開発が国内外で盛んに行われている。紙・板紙の国内需要が低迷している中、当社は「総合バイオマス企業」としての事業転換を目指して、木質バイオマスの更なる用途を開拓するため様々な開発に取り組んでいる。その一つとして、セルロースナノファイバー(CNF)の製造およびその用途開発に関する研究開発に注力している。当社は様々な用途に適したCNFの開発を進めており、工業材料として完全ナノ分散したTEMPO酸化CNF、食品・化粧品用途向けのカルボキシメチル化CNF、汎用樹脂の補強材向けのリグノCNFなどの生産設備を2017年に設置した。本講演では、CNFの国内外での開発動向、CNFの製造方法、CNFの特長と用途について当社の取り組みについて説明する。用途に関しては、包装材料に関する内容としてガスバリア包材、樹脂補強についても説明する。

【講師】日本製紙株式会社 CNF研究所 所長 河崎雅行氏
 【コーディネーター】雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室 包装管理士 須田崇氏
 四国化工機(株) 包装技術部 包材開発課 包装管理士 吉田大紀氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

12月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部・第3部
	(email)	@	
	(氏名)	(所属役職)	
	(email)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部・第3部
	(email)	@	

12月度の見学会はございません。

第13回緩衝包装設計コース

～初級から中堅クラスまでの包装設計者に対応～

【開催要領】

日時：平成30年1月24日（水）10:00～16:30

参加費：1名につき 会員25,920円・一般36,720円（消費税・テキスト代・副読本代含む）

会場：（公社）日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定員：50名（定員になり次第締切となります）

講師：カネパッケージ㈱ パッケージング アドバイザー 包装専士

高橋 二郎 氏

【スケジュール（予定）】

時間	内容
10:00～12:30	1. 輸送包装と緩衝包装（輸送包装における、製品保護についての緩衝包装の必要性） 2. 衝撃と振動の平易な力学（落下衝撃と輸送振動のマスバネ系モデル化による作用力等について） 3. 緩衝包装設計の手順（緩衝設計ステップ5法則の流通環境、製品易損性材料設計、試験について） 4. 緩衝包装設計基本技法（緩衝材の性能を示した特性曲線図から緩衝材の厚さと面積を求める方法）
13:30～16:30	5. 緩衝包装設計の応用技法と総合演習（諸条件を元に緩衝・容器・積載を含めたトータル設計を行う） 6. 製品における緩衝包装設計（発泡プラスチック系、段ボール、パルプモルト、フィルム等の緩衝材別の設計） 7. 緩衝包装設計の実例（実際の緩衝包装設計のCAD図面・写真・落下試験データ等の解説を行う）

詳しくは専用パンフレット及び当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) にてご確認下さい

◆お問合せ先◆ （公社）日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

第43回段ボール包装設計コース

～初心者を対象に段ボールの特性・包装設計を学ぶ～

【開催要領】

日時：平成30年2月15日（木）～16日（金）10:00～17:30

参加費：1名につき 会員：43,200円 / 一般：54,000円（消費税・テキスト代含む）

会場：（公社）日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定員：50名（定員になり次第締切となります）

講師：レンゴー㈱ パッケージング部門 開発本部 包装技術部 東京包装技術第一課 課長 包装専士 大谷 昌義 氏

王子コンテナ㈱ 営業本部 CS推進部 包装技術 包装管理士

小林 昌弘 氏

【スケジュール（予定）】

時間	内容
2月15日（木） 座学	【段ボールの基礎】包装産業の規模・段ボールの特性・製造と設備・強度特性 他 【包装設計に必要な知識】段ボール箱の設計手順、寸法設計、圧縮強さ、材質選定、緩衝設計 他
2月16日（金） 実習	【ケーススタディ実習】事例別グループに分かれ、段ボール箱を試作・発表資料を作成 【ケーススタディ発表】グループごとに試作品を発表・講評及びディスカッション 他

詳しくは専用パンフレット及び当会HP (<http://www.jpi.or.jp>) にてご確認下さい

◆お問合せ先◆ （公社）日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「（公社）日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>